

# 教育研究業績書

2018年05月14日

所属：情報メディア学科

資格：准教授

氏名：株本 訓久

研究分野	研究内容のキーワード
科学史, 科学技術社会論, 博物館学	日本天文学史, 科学コミュニケーション, 生涯学習
学位	最終学歴
修士(教育学), 学士(教養)	武庫川女子大学大学院 家政学研究科 被服学専攻 博士課程 単位取得満期退学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. AL(Active Learning)の実践	2016年4月～現在	担当しているすべての講義において、ほぼ毎回、課題を与えて、学生にグループディスカッションを行なわせると共に、グループの代表者にディスカッションの内容を発表させ、その内容に対して評価、助言をする、というAL的な手法を導入した。
2. PBL(Project/Problem Based Learning)の実践(卒業基礎研究)	2014年8月～現在	卒業基礎研究の一環として、学生が中心となって朝小サマースクール in 武庫川女子大学にワークショップ「つくてわかる!光のヒミツ」を企画・運営を行なった。
3. PBL(Project/Problem Based Learning)の実践(総合演習I)	2014年～現在	明石市立天文科学館の協力の下、科学館の来館者数を増やすための様々な課題の解決を通じて、学生が主体的かつ協働的に学修する能力を高める指導を行なった。
4. PBL(Project/Problem Based Learning)の実践(ゼミ指導)	2013年	ゼミナールにおいて、伊丹市立こども文化科学館職員からのヒアリングに基づいて科学館の現状を分析し、科学館の魅力伝えることのできる動画を制作した。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 担当科目の補助教材	2012年～現在	学生が授業のポイントを理解しやすくするために、担当しているすべての講義において、プリントを配布している。プリントは、重要な箇所を空欄にし、学生にノートを取らせていく工夫をしている。
2. 講義内容の振り返り	2011年～現在	毎回、講義の最後に講義内容に関する小レポートを課すことで、学生に学習内容を確認させると共に、優れた内容のものを次回の講義の最初に紹介することで、学生の講義に取組む意欲を向上させるよう工夫している。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 講演 岩橋善兵衛の八稜筒形望遠鏡	2017年10月01日	伏見中央図書館開館30周年記念事業講演会「日本で初の天体観望会は伏見(黄華堂)でおこなわれた!!」の「おたのしみ☆望遠鏡体験タイムと展示会」において、「岩橋善兵衛の八稜筒形望遠鏡」の講演と岩橋善兵衛の八稜筒形望遠鏡の展示、解説を行なった。
2. 講演 日本のガリレオ★岩橋善兵衛	2017年08月20日	ゼスト御池地下街 御幸町広場(京都市中京区下本能寺前町)で開催された、第2回銀河フェスティバル2017において、岩橋善兵衛の生涯と彼が日本の江戸時代の天文学において果たした役割等について講演した。
3. 講師 星座教室	2017年08月09日	宝会館(宝塚市野上4丁目)で開催された夏休み子ども教室において、「星座教室」の講師として、星座早見盤の工作、夏の星座の探し方、紙コップ分光器の工作等を指導した。
4. 講演 星の文化に親しむ	2017年07月08日	キャンパスプラザ京都で開催された、第4回星空案内人資格認定講座において、「星の文化に親しむ」に関する講演を行なった。
5. 講師 西宮市大学交流センター共通単位講座「情報メディア論」	2017年06月07日	西宮市大学交流センター共通単位講座「情報メディア論」(情報メディア学科提供オムニバス講座)で第九回「人々は宇宙からの情報をどう解釈してきたか」を担当し、「天文情報の解釈の歴史の変遷、宇宙と人との関わり」について講義した。
6. 講演 江戸時代の天文学と岩橋善兵衛の望遠鏡	2016年11月13日	黄華堂再発見プロジェクト実行委員会主催のイベント「江戸時代のベストセラー作家とシュールリアリズムの画家一ふしみ散歩&観望会」において、江戸時代の天文学の概略及び岩橋善兵衛の生涯と彼が制作した望遠鏡の特徴に関する講演を行なった。
7. 講演 星の文化に親しむ	2016年07月09日	キャンパスプラザ京都で開催された、第4回星空案内人資格認定講座において、「星の文化に親しむ」に関する講演を行なった。
8. 講演 武庫東小学校での天体観望会	2016年02月23日	尼崎市立武庫東小学校において、「星を見る会 in 武庫東小学校」と題する天体観望会(参加者児童及び保護者約60人)を開催した。
9. 講演 宇宙観の変遷	2015年11月28日	文化パルク城陽で開催された、第4回「星のソムリエ京都JOYO教室 楽しく宇宙を学ぶ講座Ⅱ～楽しく学びながらアートな作品作りをしよう～」において、「宇宙観の変遷」に関する講演を行なった。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
10. 講演 江戸時代の天文学と岩橋善兵衛の望遠鏡	2015年11月21日	黄華堂再発見プロジェクト実行委員会主催のイベント「日本のガリレオ！橋南谿を辿る～ウォーキング&観望会」において、江戸時代の天文学の概略及び岩橋善兵衛の生涯と彼が制作した望遠鏡の特徴に関する講演を行なった。
11. 講演 星の文化に親しむ	2015年07月11日	京町屋「ちおん舎」で開催された、第7回星空案内人資格認定講座において、「星の文化に親しむ」に関する講演を行なった。
12. 講演 京都教育大学桃山地区学校支援地域本部事業 第22回 ほしぞら教室	2015年03月06日	京都教育大学桃山地区学校支援地域本部事業の第22回ほしぞら教室に講師として講演を行なった。
13. 講演 武庫東小学校での天体観望会	2014年11月28日	尼崎市立武庫東小学校において、「星を見る会 in 武庫東小学校」と題する天体観望会（参加者児童及び保護者約100人）を開催した。
14. 講演 星の文化に親しむ	2014年10月18日	キャンパスプラザ京都で開催された、第7回星空案内人資格認定講座において、「星の文化に親しむ」に関する講演を行なった。
15. 講演 天文学の歴史	2014年09月27日	文化パルク城陽で開催された、第4回「星のソムリエ京都JOYO教室 楽しく宇宙を学ぶ講座 ～天文宇宙検定3級合格を目指して～」において、『天文宇宙検定3級』「第7章 天文学の歴史」に関する講演を行なった。
16. ボランティア 博物館イベント補助及び指導	2013年08月30日	国立天文台岡山天体物理観測所及び岡山天文博物館で開催された岡山天体物理観測所特別公開2013に博物館のボランティアとして参加し、太陽望遠鏡による観望会や天体工作指導を担当すると共に、学芸員実習中の学生に対する指導を行なった。
17. 講演 荒木俊馬の大宇宙の旅	2013年06月29日	加古川市立少年自然の家において開催された公開講座「宇宙講座」の講師として、日本における最初の天体物理学者の一人であり、子ども向けの天文書から大学レベルの研究書まで、数多くの天文書の執筆を通じて天文教育普及に取り組んだ荒木俊馬の生涯と彼の著書『大宇宙の旅』の内容について紹介した。
18. ボランティア 天体観望会スタッフ	2013年02月16日	大阪ステーションシティで開催された天文ボランティア「黄華堂」主催の第4回OSC天体観望会「FEEL LOVE天体観望会」に天体望遠鏡係として参加し、約150名の参加者に冬の星座や一等星等の解説を行なった。
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 学芸員	2010年02月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 情報メディア学科教務委員	2017年4月1日～現在	情報メディア学科教務委員として、本学及び学科の教務に関わる業務に従事した。
2. 情報メディア学科共通教育委員	2014年4月1日2016年3月31日	情報メディア学科共通教育委員として、本学及び学科の共通教育に関わる業務に従事した。
3. 情報メディア学科広報入試委員	2012年4月1日2014年3月31日	情報メディア学科広報入試委員として、本学及び学科の広報入試に関わる業務に従事した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. FUSHIMI×黄華堂	共	2017年03月31日	「黄華堂」再発見プロジェクト実行委員会	「伏見区民活動支援事業補助金」及び「京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金」の助成を受け、日本で初めて天体観望会が開催された橋南谿の別宅「黄華堂」及び橋南谿の業績を紹介するための小学生向けのガイドブックを作成した。ガイドブックは、伏見区内の全小学校等に配布した。
2. JOYO Planetarium Guide Book	共	2016年03月	公益財団法人城陽市民余暇活動センター	文化パルク城陽プラネタリウム地域活性化実行委員会委員として、プラネタリウムの魅力を発信するためのガイドブックを作成した。
3. 日本初！！観望会の地ー伏見ー黄華堂guide book	共	2016年03月	「黄華堂」再発見プロジェクト実行委員会	「伏見区民活動支援事業補助金」及び「京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金」の助成を受け、日本で初めて天体観望会が開催された橋南谿の別宅「黄華堂」及び橋南谿の業績を紹介するためのガイドブックを作成した。ガイドブックは20,000部

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
4. 日本文化事典	共	2016年01月18日	丸善出版	を印刷し、伏見区内の全小中学校、関西の科学館や文化施設に配布した。 「新幹線」、「時計」、「軽自動車」に関する項目について執筆した。 「新幹線」では新幹線の開設に至る社会情勢、及び導入された新技術、リニア中央新幹線計画について、「時計」では日本への機械時計の伝来から近代時計産業の形成過程について、「軽自動車」では国民車構想から現在に至るまでの自動車産業の歴史について解説した。
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. 岩橋善兵衛の八稜筒形望遠鏡の発見（査読付き）	単	2018年04月28日	『科学史研究』第Ⅲ期第57巻285号（日本科学史学会）、pp. 20-36	新たに発見された岩橋善兵衛（1756-1811、諱は嘉孝、号は耕？堂）製作の八稜筒形望遠鏡を、これまでに善兵衛をはじめとする岩橋家の製作と確定された望遠鏡と比較することで、その特徴を明らかにすると共に、その歴史的意義を解明した。また、日本の最初の特許訴訟とも言える岩橋家の製作技術に関する訴訟問題についても言及した。
2. 星座の名前と歴史(1)～ペガサス座とペガサス座～	共	2016年5月25日	『天文教育』第28巻第3号、天文教育普及研究会、pp. 15-18	松村雅文、成田直、福江純、渡辺義弥、株本訓久、半田利弘、服部完治 本稿では、著者の一人の疑問に対して展開されたメールの情報を基に、ペガサス座の表記と発音について考察を行なった。
3. 日本における最初の現代天文学の専門書(2)～Joseph Norman Lockyerの天文学書～	単	2015年11月30日	『天文教育』第27巻第6号（天文教育普及教育研究会）、pp. 14-32	本論考は、明治期から大正期にかけて、蘆野敬三郎、須藤伝治郎、新城新蔵、一戸直蔵らによって執筆された現代天文学の専門書の内容を調査し、当時の高等教育機関で行なわれていた天文学教育の一端を明らかにすることを目的とした合計5編から連載の第2編である。第2編では、明治最初期に出版されたJoseph Norman Lockyerの訳書に注目し、彼の略歴と業績、そして、訳書『洛氏天文学 上下』及び『初等教育・小天文学』の内容について紹介すると共に、彼の著書が日本の天文教育に及ぼした影響について明らかにした。
4. 日本における最初の現代天文学の専門書(1)～明治初期の日本における天文学書～	単	2013年05月25日	『天文教育』第25巻第3号、天文教育普及教育研究会	本論考は、明治期から大正期にかけて、蘆野敬三郎、須藤伝治郎、新城新蔵、一戸直蔵らによって執筆された現代天文学の専門書の内容を調査し、当時の高等教育機関で行なわれていた天文学教育の一端を明らかにすることを目的とした合計5編から連載の第1編である。第1編では、明治最初期に出版されたいくつかの天文書の内容について調査し、翻訳書を中心とした当時の天文教育出版の動向について概観した。
5. 鴨方町と日本の天文学	単	2012年03月	モノづくり研究—生活美学研究所モノづくり研究会報告書—（武庫川女子大学生生活美学研究所）、第1巻	岡山県浅口市鴨方町にある国立天文台岡山天体物理観測所で行なわれている最先端の天文学研究及び、同敷地内に設置される予定の京都大学新天文台の3.8m望遠鏡の製造に関する新技術について紹介すると共に、浅口市内に残されている陰陽師安倍晴明の伝説を中心に日本の天文学について解説することで、過去から現在、そして、未来に至る日本の天文学について概観した。
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. Convey the Pleasure of Astronomy to People Interested in History	共	2018年03月26日	Communicating Astronomy with the Public 2018 in Fukuoka	TAMAZAWA, Harufumi (KwasanObs. Kyoto Univ.), KABUOTO, Kuniyoshi. (MukogawaWomen's Univ.), WADA, Koichi. (The Astronomy Guide of Kyoto)
2. 日本における古代インドの宇宙観の普及	共	2016年8月21日～23日	天文教育普及研究会（於東北大学）	山道千賀子、株本訓久 本研究の目的は、所謂古代インドの宇宙観の原典とされるN. ミューラーの図が、日本で普及していった過程を明らかにすることにある。今回は図を最初に見た日本人は誰か、また図がはじめて天文書で紹介されたのはいつかについて報告する。
3. 新城新蔵が日本現代天文学の形成過程において果たした業績に関する実証的研究	単	2015年8月26日	ワークショップ新城新蔵研究（於京都大学人文科学研究所本館）	新城新蔵（1873-1938）に関して発表された学術研究についてレビューし、それを踏まえて、筆者がこれまでに発表した論文及び現在取り組んでいる研究について報告した。
4. 日本現代天文学の形成過程における新城新蔵の役割に関する実証的研究	単	2015年03月17日	「時の記念日」研究報告会（共催科学史学会阪神支部）	新城新蔵（1873-1938）に関して発表された学術研究についてレビューし、それを踏まえて、筆者がこれまでに発表した論文及び現在取り組んでいる研究について報告した。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
5. クレイアニメーション「星になったオリオン」の製作	共	2014年5月31日	天文教育普及研究会中国四国支部集会	平成25年度情報メディア学科卒業研究で制作した、乳幼児が楽しめるギリシア神話を題材としたクレイアニメーション「星になったオリオン」の内容、今後の予定について報告した。
6. 聞き取り調査による新城新蔵の資料収集	単	2014年3月19日	日本天文学会2014年春季年会（於国際基督教大学）	本発表では、新城新蔵（1873-1938）の天体物理学における業績に関する科学史的研究において、聞き取り調査による資料収集が果たした役割について報告した。筆者は新城の天体物理学における業績を調査し、彼が日本の現代天文学の形成過程において果たした役割を明らかにする研究に取り組んできた。本発表では、新城と直接関わりのあった人物からの聞き取り調査で得られた貴重な証言について報告した。
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 解説 はじめての天文講座（8）「太陽系の天体」3）太陽系小天体	単	2012年07月	友の会通信、第5巻第2号、岡山天文博物館友の会	岡山天文博物館友の会会報『友の会通信』において、天文学の基礎的な内容について連載で解説した。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 日本初、天体観望会の地「黄華堂」再発見プロジェクト	共	2016年07月	平成28年度伏見区区民活動支援事業補助金	日本初の天体観望会が開催されたという伏見区に存在していたと考えられる「黄華堂」及びそのオーナーである橘の足跡を地域住民とともにたどり、改めてその功績の今日的意義を探り、地域の文化力を高め、史実調査にとどまることなく教育機関、商店街等も巻き込んだ新たな地域コミュニティ形成を目指す。
2. 日本初、天体観望会の地「黄華堂」再発見プロジェクト	共	2016年07月	平成28年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金	「黄華堂」周辺をめぐるウォーキング等を開催すると共に、小学生向けの黄華堂ガイドブックの作成を行う。
3. 日本初、天体観望会の地「黄華堂」再発見プロジェクト	共	2015年07月	平成27年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金	「黄華堂」周辺をめぐるウォーキング等を行うワークショップを年2回実施し、黄華堂ガイドブックの作成を行う。
4. 日本初、天体観望会の地「黄華堂」再発見プロジェクト	共	2015年07月	平成27年度伏見区区民活動支援事業補助金	日本初の天体観望会が開催されたという伏見区に存在していたと考えられる「黄華堂」及びそのオーナーである橘の足跡を地域住民とともにたどり、改めてその功績の今日的意義を探り、地域の文化力を高め、史実調査にとどまることなく教育機関、商店街等も巻き込んだ新たな地域コミュニティ形成を目指す。
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			
1. 2015年1月21日~2016年3月31日	文化パルク城陽プラネタリウム地域活性化実行委員会委員			
2. 2014年7月~2016年6月	天文教育普及研究会近畿支部役員 天文教育普及研究会 日本産業技術史学会 日本科学史学会 日本天文学会			